
プロジェクト 公正価値測定に関するガイダンス及び開示
項目 本日の検討の概要

これまでの検討

1. 金融商品に関する公正価値測定に関するガイダンス及び開示について日本基準を国際的に整合性のあるものとするための取組みについては、第 122 回金融商品専門委員会（2017 年 11 月 21 日開催）（以下「専門委員会」という。）及び第 374 回企業会計基準委員会（2017 年 12 月 5 日開催）より検討を開始し、予備的な分析を実施している。

また、第 123 回専門委員会（2018 年 2 月 2 日開催）及び第 124 回専門委員会（2018 年 2 月 26 日開催）において、金融商品について、財務諸表作成者及び財務諸表利用者に対するアウトリーチ等の追加的な作業を踏まえ、国際的な会計基準と整合を図ることに対する今後の進め方について議論を行った。

なお、第 123 回及び第 124 回専門委員会において聞かれた意見は審議事項(6)-5 に記載している。

本日の検討事項

2. 本日は、以下の項目について、議論を行う。
 - (1) 財務諸表作成者に対するアウトリーチの結果の概要（審議事項(6)-2）
 - (2) 財務諸表利用者に対するアウトリーチの結果の概要（審議事項(6)-3）
 - (3) 国際的な会計基準と整合性を図ることに対する今後の進め方の検討（金融商品）（審議事項(6)-4）

以 上